

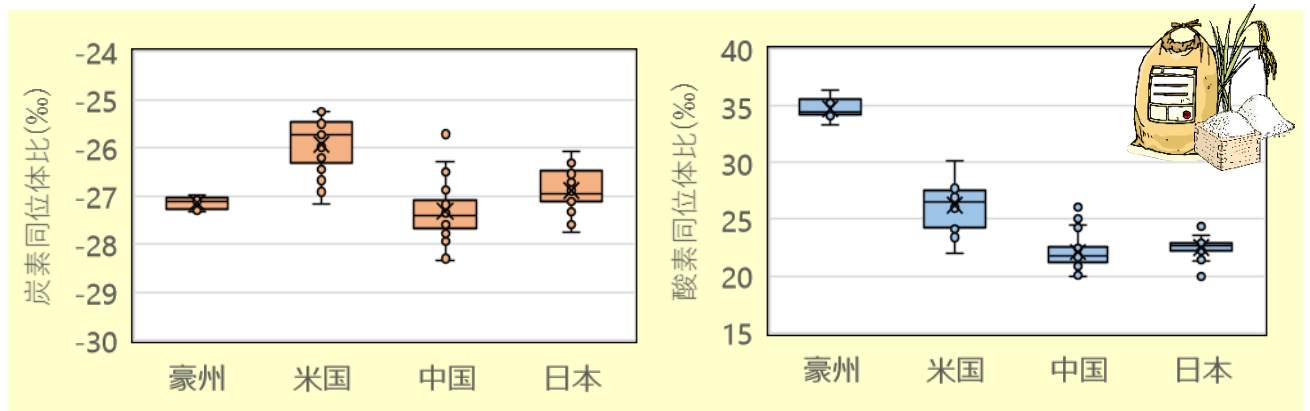
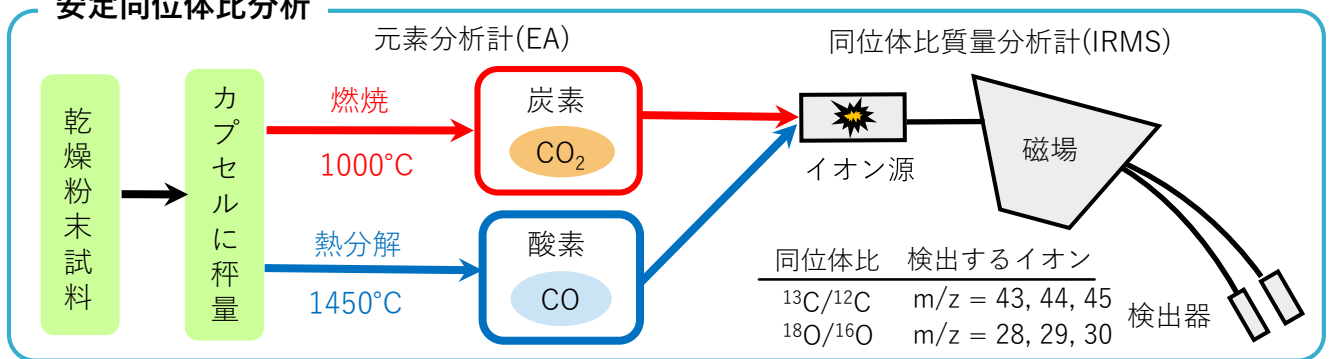
米の安定同位体比分析

— 産地判別に向けた安定同位体比分析技術の開発 —

成果の特徴

- 米は日本のみならず、アジアの食文化においても重要な農作物の一つです。世界全体の米生産に占めるアジア諸国の寄与は非常に大きく、アジアにおいて輸出入が盛んに行われています。
- EUにおいて食品の産地判別手法として応用されている軽元素の安定同位体比を用いて、米の産地判別の可能性を検証しています。

安定同位体比分析



成果の活用

2018年にスタートした国際原子力機関(IAEA)のアジア太平洋地域における食品の信頼性に関するプロジェクト(RAS5081)にて、本研究成果の技術をアジア各国へ提供し、アジアにおける米の安定同位体比データベースの構築に貢献しています。

関連論文

鈴木彌生子 (2019)環境と測定技術, 46, 23 - 28